



CALLERLAB Conventionに参加

去る3月21～23日、第43回CALLERLAB Convention (コーラーラブ大会、以下CC) がアメリカ・バージニア州のNorfolkで開催されました。CALLERLABとはアメリカに拠点を置き、スクエアダンスのコーラーで構成されています。約1500名が登録しており、海外からの登録者は本年度132名です。その内日本からは今の所12名です。主な活動内容として、BasicからC3までの各プログラムのコールリストやその定義を決めています。コールリストの移動や定義の変更がなされると、正式な資料が提供されます。日本では、その内容は技術委員会と国際交流委員会とも連携してダンサー及びコーラーにとって必要な情報をS協ニュース等で周知徹底しています。さて、今回の大会には日本から国際交流委員会の委員(和田勝氏、尾崎隆敏氏、平賀正治氏、奥村稔明氏) 委員長の中川裕、CALLERLAB MemberのTom Rainer氏、望月進一氏の7名が参加しました。

今回の大会で特筆すべき事柄は、Carl Sims氏がMilestone Awardを受賞されたことです。日本でのモダンスクエアの種を蒔き、そして、今日の日本のSD界を見た時、彼の功績、貢献がCALLERLABから高く評価されたのだと思います。今や海外のSD関係者に日本の位置付けは理解され、愛好者数においても高く評価されています。



大会では多くの分科会(課題ごとのSession)と委員会のミーティングが開催されます。75分単位の会議が同時に7会場で開催されます。バラエティに富んだ内容が発表・討議・意見交換されます。主なものとして、MS、P、AD、C、ARC (Application Review)、Definition、International Advisory (国際報告助言) 等の各Committee(委員会)や、ダンスプログラム、音楽、組織、そ

他の多種多様な内容が各分科会でなされました。委員会の会議では基本的に討議や意見交換がなされ、この場では正式決定とはなりません。討議した内容を大会後、委員会メンバーで投票して決定した後に正式発表されます。

会議の内、国際報告助言会議の報告を致します。5ヶ国(日本4名、カナダ2名、イギリス1名、スイス1名、ドイツ4名)が参加、英語圏でない国は資料の母国語への翻訳が必要、中川からCALLERLAB Direction (機関紙)のハイライト部分を日本語に翻訳して掲載している事について、S協ニュースを見せながら報告した。平賀氏より今後各国のSD人口を把握し普及に結び付けていこうとの意見が出て、カナダ5,300人、スイス8クラブ200人、ロシア200人、ドイツ3,000人、スカンジナビア地域2,000人と報告された。



日本からの参加者の内、You Only Live Twiceセッションで平賀氏がパネリストとして発表、この会議ではどのようにしてクラブ、コーラー、ダンサーを活性化するかについて意見交換された。平賀氏から中学、高校、大学でのSD指導の実績を示され参加者は興味を示していた。又、会議とは別にもう少し自由なBOF (Birds of a Feather)での発表は、望月氏と中川がプレゼンターとして河村修さん作成の“SDReader”を紹介、またコレオ作成ソフトウェアで著名なBill Ackerman氏がモデルータを買って出ってくれ盛況でした。

英語力を持った方はもちろん、興味のあるコーラーはCCに参加し、世界のコーラーと情報を交換し、また交流を深めるためにも是非参加しましょう!

(文責: 中川 裕)

イラスト